

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 城下建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		経営理念、社訓を社内に掲示し従業員で共有している。												8	9							17																	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		建設業法、独占禁止法の関係法令を遵守し透明な事業活動を行う体制を構築している。																				16																	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		入札等において、公平な競争を妨害することの無いよう、また不正に関与しないよう普段から意識付けを行っている。															10						16																
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		部署ごとの責任者を任命し、部署ごとの役割、活動を周知し社会環境に及ぼす影響を把握している。																					16																
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		機密情報の管理については、就業規則に規定を設けている。												8.2 8.3	9																								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報の保管に当っては鍵のかかる棚に保管し責任者を定めている。																					16																
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		工事の検査及び対話の中で行政、地域住民の方からの評価、意見を受け止め災害防止協議会等で改善に努めている。																				16	17																
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		河川工事を行う際、発注者や漁協と綿密な打ち合わせをし汚濁防止フェンスの設置を行い生態系への悪影響の防止等を行っている。					5							8		10		12	13	14	15	16	17																
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																9			11		13.1			16	17														
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●															8	9								17															
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●															1	2									5					8					12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内にて差別や人権侵害がないことを確認している。	●		差別のない平等な雇用を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5						8.5 8.7 8.8			10.2 10.3							16.1 16.2 16.7																
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		現場での朝礼の際、工程に合わせた注意事項を周知し、労災事故の発生抑止を行っている。				3							8.8																										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		性差に関わらず、能力主義の給与体系を実施している。					5.5							8.5			10.2 10.3																						
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		働き方改革の見直しによりノー残業デーの実施をしている。				3	5.5							8.5 8.8			10.3																						
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		能力開発のための各資格更新、取得、研修への必要経費の支給や勤務時間の調整を行っている。					4	5.5						8	9																								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		年一回の健康診断の経費補助を実施している。													3			8						17															
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		女性や高齢者も、持てる技術や経験を活かして業務に従事できる社内の雰囲気づくりを行っている。				4.4	5.1 5.5							8.5			10.2 10.3						16.7																
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●															3			8	9.1		11	12																	
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		ICT建設機械を導入し図面の3D化を行い掘削等の作業効率化をし業務負担の軽減を行っている。															8	9.1		11	12																		
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																		3	4										8	9				12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 城下建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物の分別は、町のマニュアルに沿って厳格に管理及び処分を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電気料金領収書等で使用量を把握し、エアコンフィルターの掃除をこまめにして節電に努めている。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		建設機械は排出対策型やハイブリッドを使用している。【予定】2023年4月より燃料の使用数量を毎月確認し簡易計算シートを利用して排出量を把握する。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		施工時はノッチタンクを使用し泥水の上水だけを排出するとともに、汚濁防止フェンスを併用し泥水の流出防止を徹底する事で生態系に悪影響を及ぼさないようにしている。					6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		可能な限り裏紙の利用を促進するとともに、ペーパーレス化に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		現場で発生する汚水や汚泥は適切な処置をして排出を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		物品の購入にあたっては、リサイクル可能な商品を購入するよう心掛けている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●									6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		会社敷地内の緑地や、事務所内に観葉植物を置いて環境対策を行っている。												11.6 11.7		13.1 13.3	15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー利用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		環境配慮型重機(排ガス対策型やハイブリッド)を使用している。現場に向かう際は、可能な限り複数人の同乗により自動車の効率的な運用を行っている。								7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13	15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		緑川漁協主催の漁民のもりづくりに参加し、森林整備活動に取り組んでいる。						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13	15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 城下建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		現場検査、社内検査、発注者検査など、段階を踏んだ検査を行い品質管理を行っている。			3.9						9		12.4										
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		事務所内のバリアフリー化を進め段差の解消や手すりの設置、誰もが見やすいフォントの使用にしている。									9.1	10	11.7								17		
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	測量杭は県内産を使用し、現場で使用するコンクリート二次製品も県内産を優先的に使用するようになっている。		2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15					17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	会社事務所の天井や床、壁などは県産木材を積極的に使用している。						7					12.2	13.1		15							
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15				17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		建設業協会支部が行うボランティア活動に積極的に参加し、同時本社近隣道路の清掃活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		地域のハザードマップに基づいた避難行動や事前防災対策を社員と共有している。				4							11.5		13.1		16						
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	県や町と防災協定を結び災害発生時には現場にいち早く乗り込み災害復旧活動に従事するようになっている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17				
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	インターンシップの受け入れなど、建設業への理解促進を図るとともに、若者の地域定着を促す事業を行っている。				4				8.6		10.2									17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6											17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15				17		

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。